

子どもの成功・失敗に対する保育者・教師の言葉かけ

溝川 藍 (名古屋大学)

キーワード：成功・失敗場面，言葉かけ，保育・教育

問題と目的

保育・教育現場において，子どもは様々な成功や失敗を経験し，保育者・教師はそれらの経験に対して，見守ったりフィードバックを与えたりする。本研究の目的は，日常的に子どもと接する保育者・教師が，子どもの特性の個人差をふまえて成功・失敗場面での子どもへの言葉かけをどのように変化させているのかについて調べ，その特徴を明らかにすることと，保育者・教師自身のパーソナリティと知能観が子どもへの言葉かけにどのように影響しているかを検討することであった。

方 法

調査対象者

保育現場（保育所・幼稚園・こども園），教育現場（小学校）で勤務する保育者・教師を対象に調査を行い，127 名が参加した（職業：保育士・幼稚園教諭・保育教諭 97 名，小学校教諭 18 名，その他 12 名；性別：男性 10 名，女性 116 名，その他 1 名；平均年齢 36.40 歳， $SD = 12.75$ ；平均経験年数 11.56 年， $SD = 11.51$ ）。

材料と手続き

調査参加者は，紙媒体の質問紙調査またはアンケート調査システムを通じた Web 調査に参加した。調査では複数の短い物語を提示し，様々な特性（自尊心高／低，忍耐力高／低，従順高／低）を持つ架空の子どもたちが成功・失敗を経験した際に，その子どもに対して，それぞれどのような言葉かけをするか（①成功場面でのほめ言葉，②失敗場面での励ましの言葉，③失敗場面での失敗の指摘）について回答を求めた。子どもの特性を実験的に操作し，参加者は，言葉かけごとに異なる特性の子どもに関する判断を求められた。回答は，4 つのカテゴリー（人物，結果，プロセス，その他）から選択された。また，保育者・教師の特性と子どもへの言葉かけとの関連を検討するため，自分自身のパーソナリティ（日本語版 Ten Item Personality Inventory；小塩・阿部・カトローニ，2012）及び知能観（Hong, Chiu, Dweck, Lin, & Wan, 1999）に関する質問への回答を求めた。

結果と考察

子どもの特性による言葉かけの違い

①成功場面でのほめ言葉 子ども自尊心の高

低によって，成功場面でのほめ方に違いがあることが示された（ $\chi^2(3) = 19.33, p < .01$ ）。自尊心が高い子どもに対しては，結果に関するほめ（例。「上手にできたね」）がより多く選択され（ $p < .01$ ），自尊心が低い子どもに対しては，プロセスに関するほめ（例。「よくがんばったね」）がより多く選択された（ $p < .05$ ）。

②失敗場面での励ましの言葉 子どもの忍耐力の高低によって，失敗場面での励まし方に違いがあることが示された（ $\chi^2(3) = 30.17, p < .01$ ）。忍耐力の高い子どもに対しては，結果に関する励まし（例。「上手にできているよ」）がより多く選択され（ $p < .01$ ），忍耐力の低い子どもに対しては，プロセスに関する励まし（例。「よくがんばったね」）がより多く選択された（ $p < .01$ ）。忍耐力の低い子どもへの人物に関する励まし（例。「あなたならできる」）はほとんど見られなかった。

③失敗場面での失敗の指摘 多数の参加者が「その他」の選択をしていたものの，子どもの忍耐力の高低によって，失敗の指摘の仕方に違いがあることが示された（ $\chi^2(3) = 8.84, p < .05$ ）。忍耐力の低い子どもに対しては，プロセスに関する言葉かけ（例。「がんばりが足りなかったね」）がより多く選択された（ $p < .05$ ）。

①～③の結果から，子どもの特性によって大人の言葉かけは異なり，自尊心が高い，忍耐力が高い等，「気がかりの少ない子ども」に対しては，取り組みのプロセスよりも結果に関するフィードバックがなされやすいことが示された。

保育者・教師のパーソナリティ・知能観との関連

成功場面でのほめ言葉および失敗場面での励ましの言葉においては，保育者・教師のパーソナリティ・知能観と言葉かけの間に，有意な相関は認められなかった。他方，失敗場面での失敗の指摘においては，子どもに対して失敗を指摘する際に，勤勉性が高い者ほど，プロセスに言及すること（例。「がんばりが足りなかったね」）（ $r = .21, p < .05$ ），また固定的な知能観を持つ者ほど，人物に言及すること（例。「あなたには難しかったね」）（ $r = .28, p < .01$ ）が示された。

これらの結果から，保育者・教師自身のパーソナリティや知能・才能に関する考え方が，失敗場面における子どもの失敗の原因の捉え方や，言葉かけに反映される可能性が示唆された。